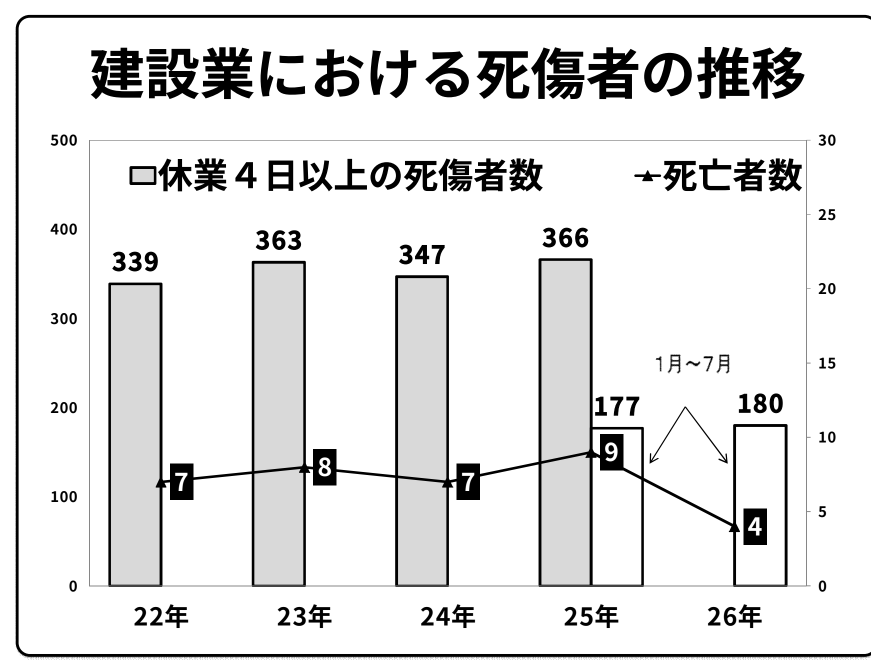
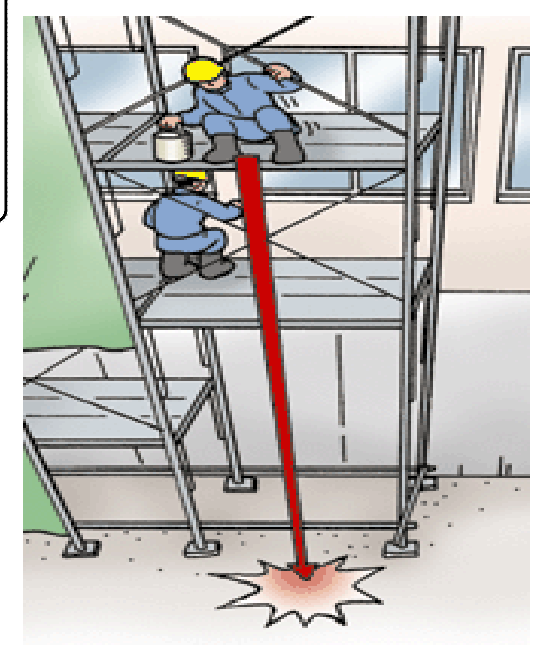


建設現場での労働災害特に（墜落・転落、飛来・落下、切れ・こすれ、はさまれ・巻き込まれ）災害を防止しよう！



建設業における休業４日以上の死傷災害は、平成 25 年は、前年同期に比べ 19 人（＋5.5%）増加し、平成 26 年に入ってからも７月末時点で、前年同期比＋1.7%の 180 人と前年を上回って推移しています。



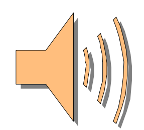
建設業における労働災害の特徴



建設業では、「墜落・転落」が最も多く労働災害全体に占める割合は、33%と依然として高い比率を占めています。

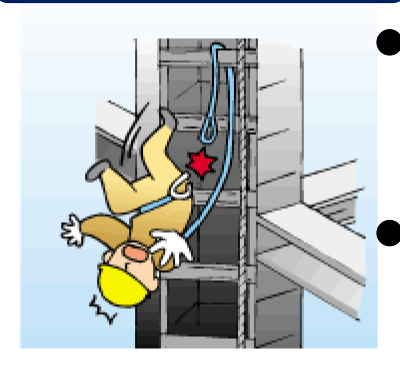
死亡災害も４人中２人が墜落・転落災害によるものです。

広島労働局



その作業、安全対策は十分ですか？

墜落・転落災害の防止

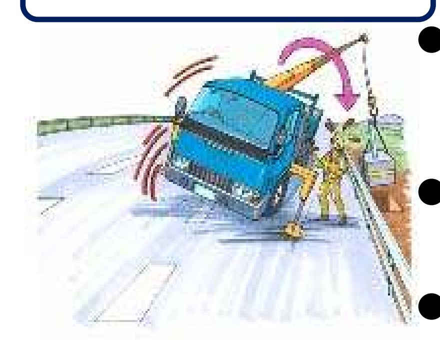


●墜落の危険がある高所作業では、足場、作業床を設置し、手すり等の墜落防止措置を講じましょう。
●これが困難な場合、安全ネットの設置、安全帯の使用を徹底しましょう。



●踏抜きの危険がある時は、歩み板の設置、防網を張る等の踏抜き防止措置を講じましょう。
●移動はしごは、建物に固定する等転移防止措置を講じましょう。

転倒災害の防止



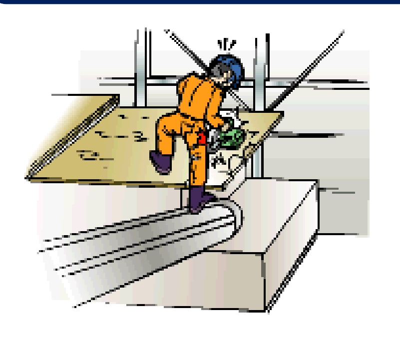
●積載型トラッククレーンは、旋回方向により車両の安定が変わります。
●アウトリガの張出幅によっても定格総荷重が変わります。
●取扱説明書で確認しましょう。

はさまれ・巻き込まれ災害の防止



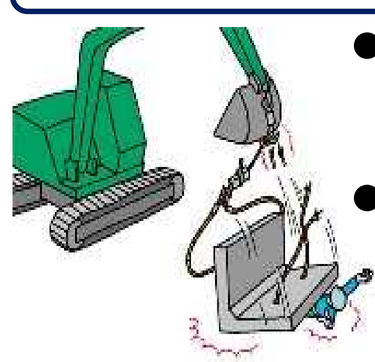
●車両の走行範囲への立入禁止措置を講じるか、誘導員を配置しましょう。
●特に後進時の安全確認を徹底しましょう。

切れ・こすれ災害の防止



●作業開始前に、携帯用丸のこ盤の歯の接触予防装置の機能をを確保しましょう。
●携帯用丸のこ盤を回転させたまま、あるいはスイッチに指をかけて持ち運ばないようにしましょう。

飛来・落下災害の防止



●車両系建設機械の用途外使用は原則として行わないようにしましょう。
●荷の吊り上げ作業では、吊り荷の下に人を立ち入らせないようにしましょう。

厚生労働省では、「あんぜんプロジェクト」ホームページを開設しています。
労働災害発生状況や、プロジェクトに参加する企業（プロジェクトメンバー）を公表するとともに、プロジェクトメンバーの安全衛生活動の取組みの紹介など、職場の労働災害防止対策に役立つ各種情報を公表しています。
皆さん、ご活用ください。
（http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/）

広島労働局